

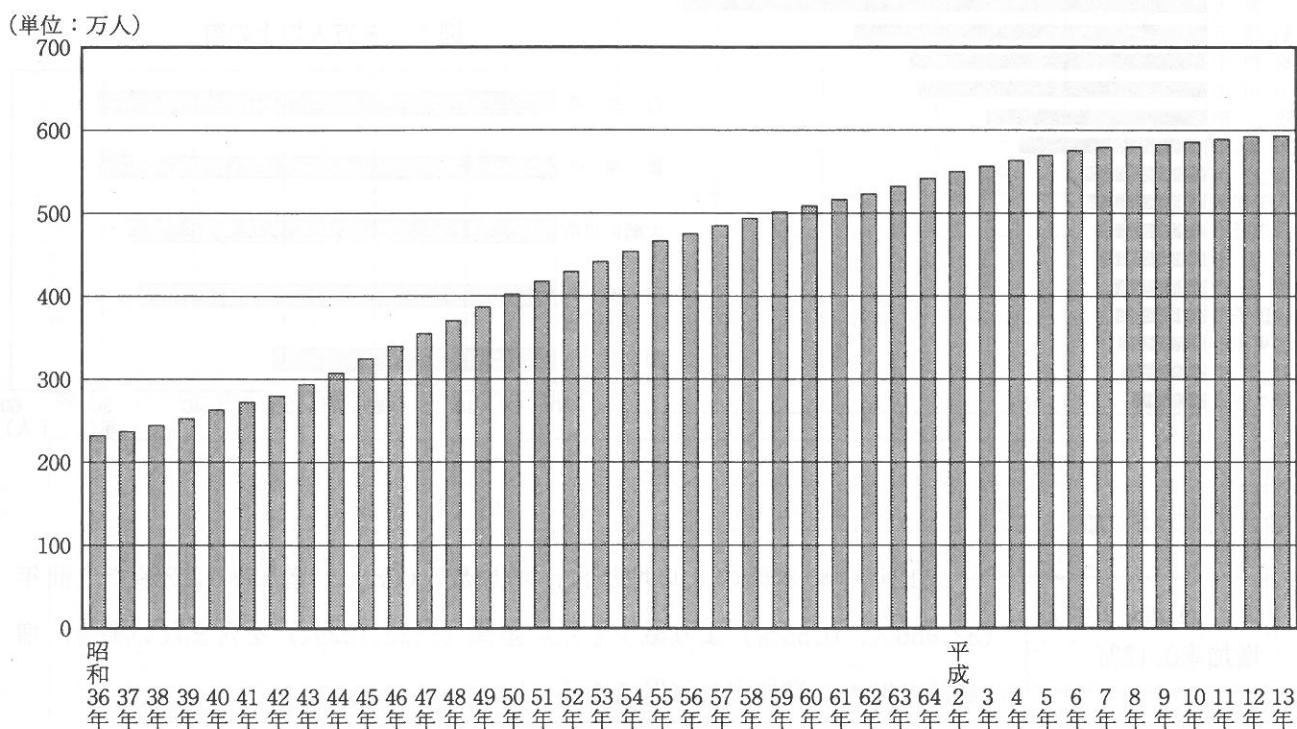
結果概要

1. 人口総数

県人口593万人

平成13年1月1日現在の本県の人口は5,934,460人で、前年人口の5,927,452人に比べ7,008人、率にして0.12%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在（国勢調査）1,336,155人で、その後増加を続け、昭和43年7月1日現在では300万人を超えて、3,011,134人となった。さらに、昭和49年11月1日現在では400万人を超え4,002,808人となり、昭和58年9月12日に500万人を突破した。

図1 千葉県人口の推移（各年1月1日現在）



平成12年12月に公表された平成12年国勢調査速報によると、本県の人口は5,926,349人で全国第6位となっている。

千葉市人口88万9千人
県人口の15.0%を占める

平成13年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（31市）のうち10万人以上の市は15市あり、そのうち千葉市が88万9千人（県人口に占める割合15.0%）で最も多く、郡部人口74万6千人（同12.6%）より多くなっている。以下、船橋市55万人（同9.3%）、松戸市46万5千人（同7.8%）、市川市44万9千人（同7.6%）、柏市32万8千人（同5.5%）の順で続き、この5市で県人口の45.2%を占めている。

郡部（44町5村）では、白井町が5万人（同0.9%）、富里町が5万人（同0.8%）で最も多く、以下、大網白里町4万7千人（同0.8%）、沼南町4万6千人（同0.8%）、関宿町3万1千人（同0.5%）の順となっている。

図2 10万人以上の市

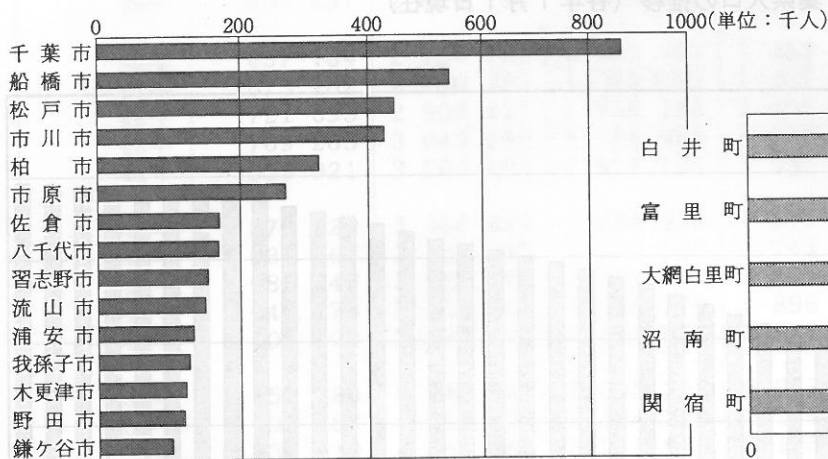
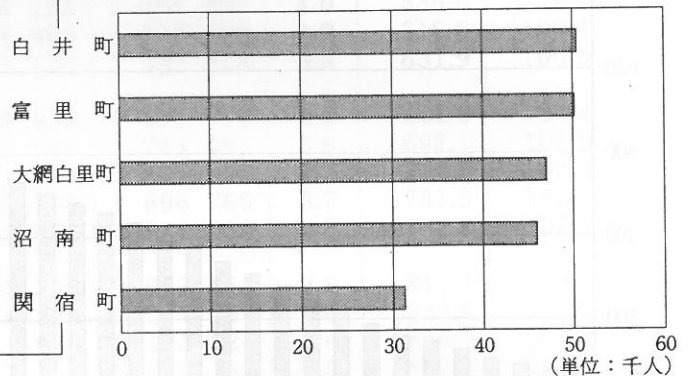


図3 3万人以上の町



2. 人口増加

人口増加数7千人
増加率0.12%

平成12年中の本県の人口増加は、増加数7,008人、増加率0.12%で、前年（32,456人、0.55%）より減少した。差異（-25,122人）を含まない場合、増加数32,130人、増加率0.54%である。

近年の人口増加の推移を増加率で見ると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成12年には0.12%、差異を含めない場合でも0.54%となった。

自然増加数は増加

平成12年中の自然増加は、増加数18,796人（出生56,242人、死亡37,446人）で、前年の16,418人（出生54,781人、死亡38,363人）に比べ出生が1,461人増加し、死亡が917人減少して自然増加は2,378人増加となった。

近年の自然増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合）で見ると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成12年は0.32%となった。

社会増加数は減少

平成12年中の社会増加は、増加数-11,788人（転入208,251人、転出194,497人、県内移動他-25,542人）で、前年の16,038人（転入208,171人、転出192,609人、県内移動他476人）に比べ転入が80人増加し、転出が1,888人増加し、県内移動他が26,018人減少して、社会増加数は前年に比べ27,826人の減少となった。差異（-25,122人）を含まない場合、増加数13,334人で、前年に比べ2,704人の減少となった。

近年の社会増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合）でみると、昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成12年には-0.20%、差異を含まない場合では、0.22%となった。

図4 人口増加率の推移（昭和36年～平成12年）

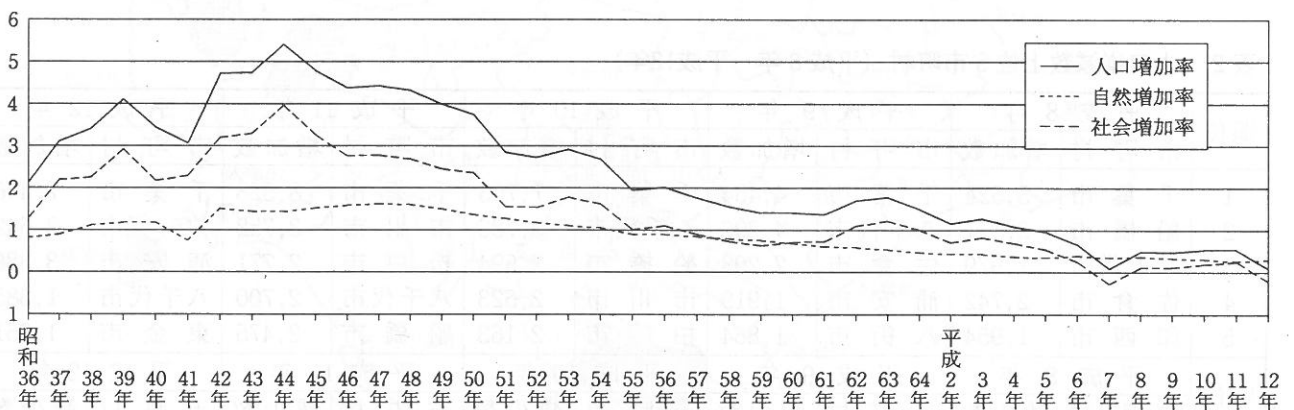


表1 月別動態別人口増加数（平成12年中）

（単位：人）

	人口増加	自然増加			社会増加			
		増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	県内移動他
1月中	1,087	805	4,820	4,015	282	11,967	11,254	-431
2月中	665	979	4,492	3,513	-314	13,230	13,036	-508
3月中	-6,730	1,151	4,762	3,611	-7,881	36,815	42,400	-2,296
4月中	14,833	1,214	4,124	2,910	13,619	32,135	20,846	2,330
5月中	4,783	1,754	4,879	3,125	3,029	15,473	13,125	681
6月中	1,796	1,951	4,654	2,703	-155	13,042	13,244	47
7月中	1,315	1,822	4,641	2,819	-507	14,776	15,051	-232
8月中	4,136	2,139	4,933	2,794	1,997	15,926	14,284	355
9月中	-22,988 (2,134)	2,037	4,659	2,622	-25,025 (97)	13,856	13,468	-25,413 (-291)
10月中	4,885	2,055	5,058	3,003	2,830	15,839	13,274	265
11月中	2,003	1,540	4,759	3,219	463	12,274	11,663	-148
12月中	1,223	1,349	4,461	3,112	-126	12,918	12,852	-192
計	7,008 (32,130)	18,796	56,242	37,446	-11,788 (13,334)	208,251	194,497	-25,542 (-420)

注) 県内移動他とは、県内間の転入・転出及び職権による記載・消除等をいう。

なお、9月中は差異を含む。()内は、差異を含まない数値である。(差異については、巻頭の「利用上の注意」参照)

25市町村で人口増加
最高増加率は印旛村11.33%

平成12年中の人口増減を市町村別にみると、25市町村で人口が
増加（平成11年中34市町村）し、55市町村で減少した。

増加数では千葉市が7,446人（県人口増加数に占める割合
106.3%）で最も多く、以下柏市3,642人（同52.0%）、浦安市3,386人（同48.3%）、八千代市
1,385人（同19.8%）、東金市1,351人（同19.3%）と続いている。逆に、減少数では市原市が1,
996人で最も多く、以下野田市1,561人、君津市1,173人、佐倉市1,061人、銚子市919人の順となっ
ている。

また、人口増加率では印旛村が11.33%で最も高く、以下本埜村5.18%、浦安市2.60%、東金
市2.30%、富里町1.34%と続いている。逆に減少率では長南町が3.37%で最も高く、以下干潟町
3.16%、岬町3.00%、栗源町2.13%、小見川町2.10%の順となっている。（ただし、差異を含め
た数値による。）

表2 人口増減数上位5市町村（平成8年～平成12年）

順位	平成8年		平成9年		平成10年		平成11年		平成12年	
	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数
1	千葉市	3,524	千葉市	4,454	千葉市	7,703	千葉市	8,528	千葉市	7,446
2	船橋市	3,171	八千代市	4,296	八千代市	3,786	市川市	3,752	柏市	3,642
3	八千代市	2,979	佐倉市	2,293	船橋市	2,594	松戸市	2,771	浦安市	3,386
4	佐倉市	2,742	浦安市	1,919	市川市	2,523	八千代市	2,700	八千代市	1,385
5	印西市	1,954	八街市	1,864	柏市	2,163	船橋市	2,475	東金市	1,351
順位	平成8年		平成9年		平成10年		平成11年		平成12年	
	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数
1	銚子市	618	木更津市	819	銚子市	658	銚子市	675	市原市	1,996
2	木更津市	408	銚子市	580	佐原市	485	富津市	350	野田市	1,561
3	関宿町	269	佐原市	288	館山市	320	鴨川市	343	君津市	1,173
4	佐原市	240	鴨川市	270	鴨川市	274	勝浦市	234	佐倉市	1,061
5	松戸市	232	館山市	269	富津市	245	関宿町	189	銚子市	919

注) 平成12年は差異を含む。（差異については巻頭の「利用上の注意」参照）

表3 人口増減率上位5市町村（平成8年～平成12年）

順位	平成8年		平成9年		平成10年		平成11年		平成12年	
	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率
1	神崎町	5.02%	本埜村	36.72%	本埜村	12.51%	本埜村	15.10%	印旛村	11.33%
2	山武町	3.53%	八街市	2.76%	神崎町	2.58%	八街市	2.47%	本埜村	5.18%
3	印西市	3.37%	八千代市	2.73%	大網白里町	2.35%	大網白里町	1.71%	浦安市	2.60%
4	大網白里町	3.00%	神崎町	2.66%	八千代市	2.34%	八千代市	1.63%	東金市	2.30%
5	八街市	2.86%	大網白里町	2.12%	東金市	2.10%	佐倉市	1.33%	富里町	1.34%
順位	平成8年		平成9年		平成10年		平成11年		平成12年	
	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率
1	和田町	1.73%	鋸南町	1.59%	天津小湊町	1.39%	富山町	1.87%	長南町	3.37%
2	本埜村	1.41%	天津小湊町	1.18%	大多喜町	1.25%	和田町	1.72%	干潟町	3.16%
3	天津小湊町	1.27%	富山町	1.15%	鋸南町	1.12%	白浜町	1.49%	岬町	3.00%
4	長南町	1.21%	千倉町	1.11%	長柄町	1.12%	天津小湊町	1.44%	栗源町	2.13%
5	干潟町	1.14%	長南町	1.04%	勝浦市	1.01%	丸山町	1.29%	小見川町	2.10%

注) 平成12年は差異を含む。（差異については巻頭の「利用上の注意」参照）

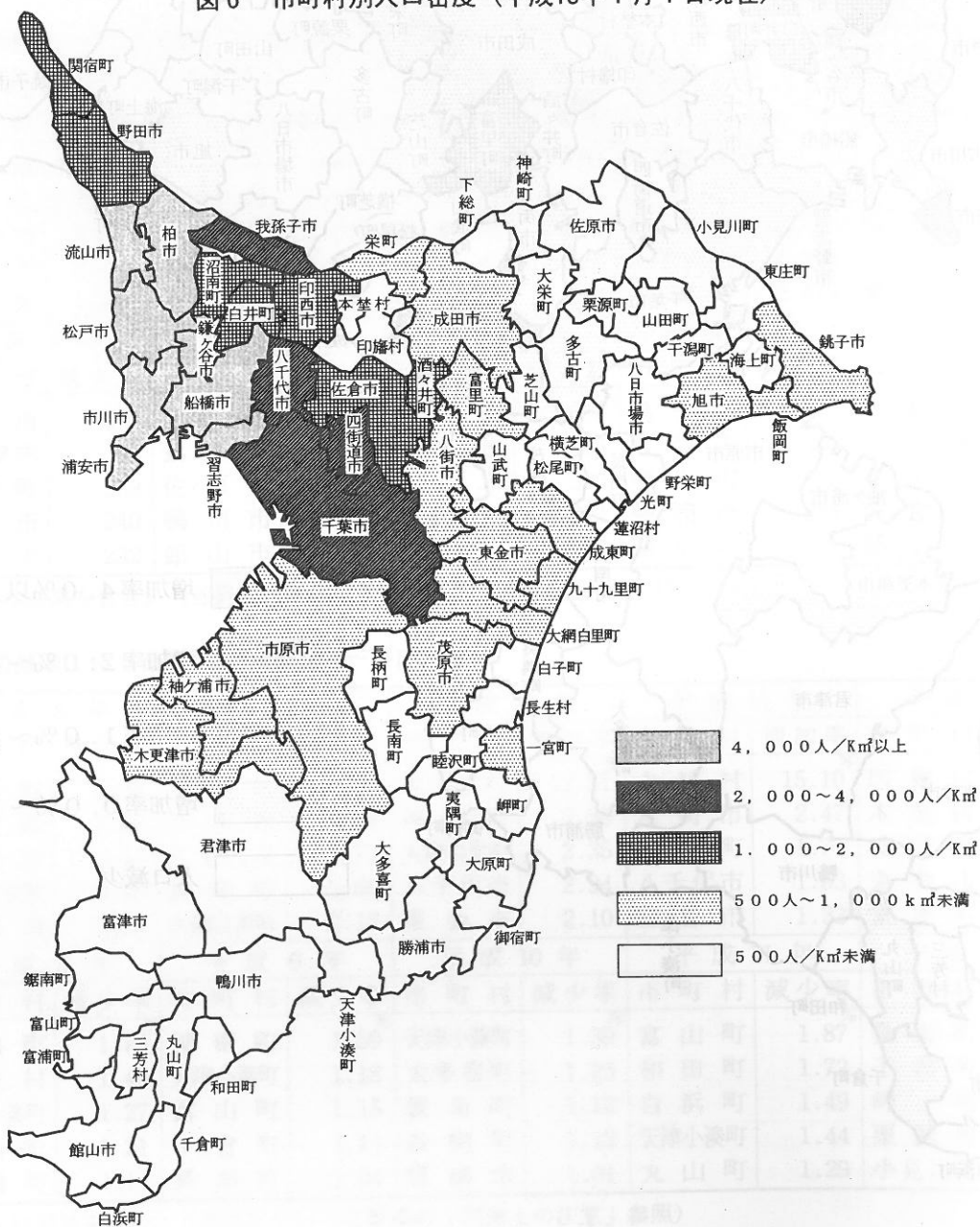
3. 人口密度

県人口密度1,150.9人/km²
市町村別人口密度は市川市
が7,824.4人/km²で最高

本県の人口密度は、平成13年1月1日現在1,150.9人/km²で、前年の人口密度1,149.6人/km²に比べ1.3人/km²高くなった。市郡別にみると、市部1,615.3人/km²、郡部383.7人/km²で、市部は郡部の約4倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、市川市が7,824.4人/km²で最も高く、以下、浦安市7,732.9人/km²、松戸市7,585.6人/km²、習志野市7,362.2人/km²、船橋市6,418.6人/km²と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町93.3人/km²、丸山町130.7人/km²、三芳村139.9人/km²、富山町150.0人/km²、長南町162.1人/km²の順となっている。

図6 市町村別人口密度（平成13年1月1日現在）



4. 人口性比

県人口性比100.9

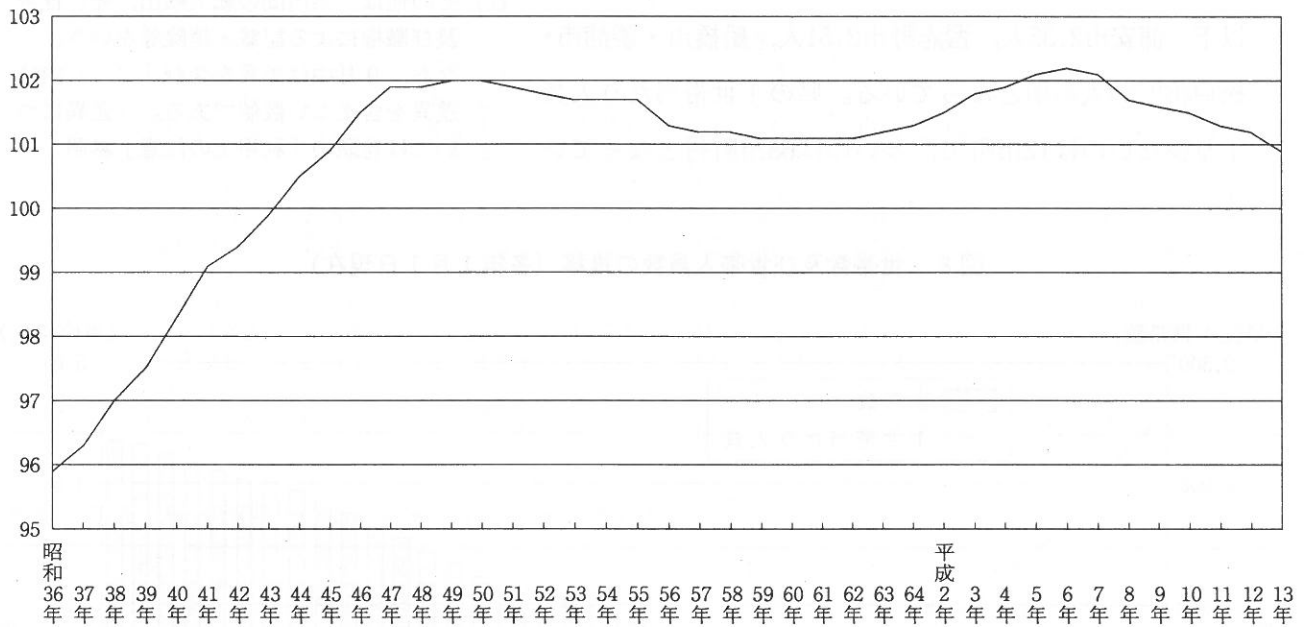
平成13年1月1日現在の本県の人口を男女別にみると、男子2,980,041人、女子2,954,419人で男子が女子に比べ25,622人多く、人口性比（女子100人に対する男子の数）は、100.9で前年（101.2）に比べ0.3ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、浦安市の107.7が最も高く、以下、市川市107.5、市原市105.9、勝浦市105.8、富里町104.9で、逆に最も低いのは白浜町の84.4で、以下千倉町88.5、鴨川市・御宿町89.1、富浦町90.5、和田町90.6となっている。

100以上の市町村は21市町で、100未満の市町村は59市町村となっている。

昭和36年以降の人口性比の動きを各年1月1日現在でみると、95.9から上昇し続け、昭和44年にはじめて男子人口が女子人口を上回り人口性比が100を超え、昭和50年には102.0、以降は徐々に低下したが、昭和63年以降は再度上昇傾向にあり、平成6年には、過去最高の102.2となった。

図7 人口性比（昭和36年～平成13年、各年1月1日現在）



6. 県外との人口移動

人口移動総数40万人
移動率6.78%

平成12年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、402,748人で前年の400,780人に比べ1,968人増加し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は6.78%と、前年と比べて変化はなかった。

1万4千人の転入超過
転入超過率0.23%

平成12年中の県外からの転入者数は208,251人（前年208,171人）、転出者数194,497人（同192,609人）で、転入超過数13,754人（同15,562人）となり、転入超過数は1,808人減少した。

また、平成12年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.23%と、前年の0.26%に比べて0.03ポイント下降した。なお、県外との関係は39の都道府県から転入超過となり、7県へは転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（昭和61年～平成12年）

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
61	376,498人	7.24%	38,086人	0.73%	207,292人	169,206人	5,202,569人
62	401,782	7.61	57,850	1.10	229,816	171,966	5,283,115
63	417,118	7.75	64,544	1.20	240,831	176,287	5,380,759
平成元	422,316	7.72	54,224	0.99	238,270	184,046	5,471,257
2	432,300	7.79	43,116	0.78	237,708	194,592	5,546,610
3	431,533	7.69	44,911	0.80	238,222	193,311	5,608,760
4	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
5	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886

表6 転入・転出超過上位都道府県（平成8年～平成12年）

順位	平成8年		平成9年		平成10年		平成11年		平成12年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	東京都	2,475人	神奈川県	1,268人	大阪府	1,271人	東京都	1,516人	大阪府	1,934人
2	神奈川県	1,646	大阪府	1,174	埼玉県	874	大阪府	1,257	埼玉県	1,145
3	愛知県	673	東京都	637	北海道	779	埼玉県	1,091	兵庫県	869
4	大阪府	377	静岡県	386	兵庫県	447	福岡県	634	茨城県	762
5	広島県	343	愛知県	346	静岡県	397	新潟県	606	愛知県	673
順位	平成8年		平成9年		平成10年		平成11年		平成12年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	茨城県	1,846人	茨城県	1,410人	茨城県	1,053人	沖縄県	60人	東京都	2,650人
2	福岡県	589	長野県	176	東京都	41	鹿児島県	46	群馬県	170
3	宮城県	348	大分県	126	島根県	35	岩手県	13	神奈川県	157
4	栃木県	322	鹿児島県	115	福井県	24	高知県	10	青森県	24
5	埼玉県	221	群馬県	75			山梨県	9	大分県	15

7. 人口重心

人口重心は千葉市花見川区
畑町付近

本県の人口重心は、平成12年10月1日現在で、千葉市花見川区畑町付近の東経140度5分20秒・北緯35度39分54秒の位置にあり、平成7年国勢調査（平成7年10月1日現在）時点より北方向に約159m移動した。

大正9年の人口重心は、市原市瀬又付近であるが、その後、人口重心は北西方向に移動してきている。

注) 人口重心とは、人口の一人一人が同じ重さを持っているとして、地域内の人口を1点で支えて平衡を保つことのできる点をいう。これは人口の地域分布状況を集約して示す指標の一つである。なお、千葉県の人口重心の計算にあたっては、県内各市町村の人口重心がそれぞれ現在の市役所・町村役場にあると仮定した。

表7 千葉県の人口重心の推移（大正9年～平成12年）

年次	東度分秒	北度分秒	移動距離 km	位置
大正9年	140 12 38	35 32 25	—	市原市瀬又付近
大正14年	140 12 24	35 32 49	0.8	千葉市誉田町付近
昭和5年	140 12 23	35 33 12	0.7	〃
昭和10年	140 12 22	35 33 29	0.5	〃
昭和15年	140 12 9	35 33 50	0.7	千葉市平山町付近
昭和22年	140 11 30	35 34 7	1.1	〃
昭和25年	140 11 24	35 34 18	0.4	〃
昭和30年	140 10 57	35 34 44	1.0	〃
昭和35年	140 10 8	35 35 23	1.7	千葉市仁戸名町付近
昭和40年	140 8 19	35 36 45	3.7	千葉市貝塚町付近
昭和45年	140 6 43	35 37 34	2.9	千葉市轟町付近
昭和50年	140 5 52	35 38 20	1.9	千葉市小仲台付近
昭和55年	140 5 27	35 38 53	1.2	千葉市小中台町付近
昭和60年	140 5 15	35 39 10	0.6	千葉市朝日ヶ丘付近
平成2年	140 5 8	35 39 28	0.6	千葉市畑町付近
平成7年	140 5 20	35 39 49	0.7	千葉市花見川区畑町付近
平成12年	140 5 20	35 39 54	0.2	〃

資料：大正9年～平成12年は、国勢調査結果による。（各年10月1日現在）
（ただし、平成12年は速報値）

図9 人口重心の移動（大正9年～平成12年）

